



三重県産 CO₂フリー電気の利用について

亀山市は、来月から、本庁舎で使用する電力について、中部電力ミライズ株式会社が提供する三重県産 CO₂フリー電気「三重美し国 Green でんき」の利用を開始します。

「三重美し国 Green でんき」は、三重県内の宮川や櫛田川などの水系にある水力発電所で発電された電気に、県内の美しい水資源から生まれた地球にやさしい電気という環境価値を付加し、CO₂排出量ゼロの三重県産電気として同社が県内の法人等へ供給しているものです。

三重県産再生可能エネルギーの利用を促進する三重県と同社が連携し、「三重県産再エネ電力利用促進事業」の一環として昨年7月に供給が開始されて以来、県内の企業数社が利用されており、自治体では亀山市が初めてとなります。

また、本市では、市が実施する事務事業において、省エネルギー、省資源、廃棄物の減量化などを推進し、CO₂排出量の削減に取り組んでおり、本庁舎において CO₂フリー電気を利用することにより、年間約200tの CO₂排出量の削減効果が見込まれます。

今後も、脱炭素社会の実現に向けた取り組みとして、市の事務事業における CO₂排出量の削減に努めるとともに、電気の地産地消を通じた地域の再生可能エネルギーの普及に向け、率先して取り組んでまいります。